

# 南小だより

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

やさしい子

たくましい子

5月の生活目標

『あいさつをしっかりとしよう』

平成26年4月30日

第2号

川越市立高階南小学校

## 未来を見つめる目と日々の積み重ね

新年度が始まり、1か月が過ぎました。校内に響く子どもたちの歓声と元気な笑顔に心が和みます。先日行われた1年生を迎える会の子どもの愛くるしさにも思わず微笑んでしまいました。迎える側の上級生も、短時間の練習期間でしたが、その成果を発揮して様々な出し物を演じてくれました。子どもたちの頑張りを見ることができ、教師としてこの上なく幸せな時間でした。本校のよき伝統、よき校風を継承しつつ、新たな気持ちで1年生を迎えようとする上級生に頼もしさを感じるとともに、これから始まる新入生の小学校生活をしっかりと支えていかなければという思いを強くしました。

1年生が小学校を卒業する頃、日本は、世界は、どうなっているのでしょうか。私たちは、子どもたちとしっかりと向き合い、彼らが成長する姿を見届けなければなりません。子どもに向き合うことは彼らの未来と向き合うことだと思えます。そこには、期待や希望だけでなく、不安や困難も潜んでいるはずです。

隣国の韓国では、多くの若い命が失われるという悲惨な旅客船沈没事故が起きました。思いもよらぬ事故に「想定外」という言葉が脳裏をよぎりました。しかし、東日本大震災を経験した私たちは「想定外」という言葉を使うことはできません。いつ何時何が起こるか分からない世の中。そのために、あらゆる知識と経験、そして、想像力を動員して、子どもたちの安全を守り、いかなる苦難にも耐えうる力を育てていくことが私たち大人の責務です。

今、改めて、学校教育目標「心豊かにたくましく生きる」子どもたちを育成していくことの重要性を感じています。子育ても学校教育も、未来への視点と子どもたちの幸せを願う思いは同じです。子どもたちの見つめる瞳の先にある未来。未来は日々の生活の積み重ねにあることを胸に刻み、保護者の皆様、地域の皆様と手を携えながら教育活動に専心したいと思えます。



話し手を見つめる1年生

## 思いを言葉に 言葉を行動に

今年度、本校では、言語活動の充実を更に推進したいと考えています。4月28日(月)転退職された先生方を迎えた離任式で、子どもたちは感謝の気持ちを手紙に託して渡していました。子どもたちにとって転任や退職は3月末に突然訪れる別れです。戸惑いと悲しみを、一月ぶりの再会の喜びと共に、涙ながらに先生方に伝えている児童の姿も見られました。溢れる思いを言葉にすることは難しいことです。「以心伝心」という言葉があるように、言語を介さず目の動きや沈黙の中でも深く通じあうこともあります。これからの時代を生きる子どもたちには、コミュニケーションツールとしての言葉の力も非常に重要です。

様々な学習の機会や行事等の場面で思いを言葉にする力を育成し、更に、その思いを込めた言葉を行動にする力を磨いていきたいと思えます。6年生のボランティア活動



## ご協力をお願い

本校では定期的に「絵本の読み聞かせ」の会を実施していただいております。保護者の皆様を中心に「お話玉手箱」のボランティアの方々においでいただいております。もし興味のある方がいらっしゃいましたら、学校までご連絡をお願いいたします。

また、家で眠っている「国語の辞書」「大型のカセットデッキ(出力の大きいもの)」がありましたら、ご寄付いただくと大変助かります。「国語の辞書」は、各教室に置いていつでも使えるように、また、「大型のカセットデッキ」は、合唱練習の際、子どもたちの元気な声に負けない伴奏の音が出るようにと考えております。いずれも、誰かが使っていたもの、ご家庭で不要になったもので結構です。どうかご協力をお願いいたします。



初めての給食当番(1年生)



1年生を迎える会(1年生)



理科の授業(4年生)



保護者による読み聞かせ(1年生)